



“心豊かに  
笑顔あふれる”

青森県  
総合社会教育センター

# 響

所報〈ひびき〉

No.  
105

平成28年 6月24日

## 青少年異年齢交流モデル事業を県内各地へ

### ◆寺子屋とは…

日曜日の午後、当センター1階インフォメーションプラザありす奥のブースでは、大学生や高校生に見守られながら、マンツーマンで、時にはグループで、宿題や学習プリントに取り組む小中学生達の姿が見られます。

これは、「青少年異年齢交流モデル事業『寺子屋ありす』（以下、寺子屋）の一角です。



学習タイムの様子

『寺子屋』とは異年齢が共に学びあい、創作活動やレクリエーションの活動等をとおして、互いに成長できる場所として、今年度新たに開設した社会教育センターのコーナーです。

前半2時間は「学習タイム」、後半2時間は「交流タイム」としてスポーツや交流ゲームを行っています。

### ◆「ナナメの関係」で子どもを育てる

人間関係の希薄化が叫ばれる今日、社会全体で子どもを育てていくためには、親でも教師でもない第三者が子どもとの新しい関係＝「ナナメの関係」を構築することが重要となります。そこでこの春から、当センターの「青少年社会参加活動モデル団体」である大学生団体「LESTA（レスタ）」の協力のもと、

『寺子屋』は運営されています。

小・中学生が帰宅した後、大学生と高校生による一日の振り返りが行われます。そこでは、運営上の問題点、改善点等が話し合われ、次回の運営内容を決定していきます。

このように、異年齢の青少年が校種を超えて、定期的に交流することで、新たな発見・気づきが生まれ、「〇〇を学びたい」、「〇〇を体験したい」と主体的に企画を立て、想いを「カタチ」にしていく実践活動をしています。

### ◆青少年育成講座との連携

活動している大学生・高校生たちは、当センターの青少年育成講座である「未来の青森県を担う若人育成講座」を受講し、ボランティア活動の心構え、コミュニケーション概論、児童との接し方、危機管理等について学び、その成果を『寺子屋』での実践活動に活かしています。

### ◆モデル事業を県内各地へ

今後、当センターでは、単なる青少年の「居場所づくり」に留まらず、青少年が相互に学び合い、成長できる「仕組みづくり」を構築し、県内各地へ普及を図る予定です。

今年度は黒石市でも実施しますので、ご期待ください。

### ◆寺子屋ありす（青森市）

対象：青少年（小学生、中学生、高校生、大学生）  
開催日：毎週日曜日（※6/19、7/10、8/14はお休みです）  
及び夏季休業中（実施日 8/17～8/20）  
時間：13:00～17:00  
場所：インフォメーションプラザ「ありす」内【寺子屋】  
持ち物：筆記用具、宿題（または家庭学習用プリント等）  
参加料：無料

### ◆寺子屋サンサン（黒石市）

対象：青少年（小学生、中学生、高校生）  
開催日：原則月2回日曜日及び夏季休業中  
（7/10から開催）※小学生参加は8/8から  
〔8月実施日 8/8・9・12・28〕  
〔9月実施日 9/4・18〕  
時間：13:00～17:00  
場所：黒石市立東公民館 2階 談話室内【寺子屋】  
持ち物：筆記用具、宿題（または家庭学習用プリント等）  
参加料：無料

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

# 放課後の居場所を充実させるために

## ～放課後子ども総合プランコーディネーター等研修～

子どもたちが放課後や土曜日等を安全・安心に過ごすことができるよう、また子どもたちの居場所を確保し、多様な体験や活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化をめざした取り組み（放課後子ども総合プラン）が行われています。

### ※青森県内の放課後子ども教室・放課後児童クラブ等の開設状況

放課後子ども教室	25市町村	125教室
放課後児童クラブ	34市町村	301クラブ
児童館・児童センター	18市町村	95館

※「平成27年度放課後対策事業開設状況」青森県教育委員会  
青森県総合社会教育センターでは、児童クラブ、子ども教室の支援員や指導員、コーディネーター等関係者の資質向上及び放課後子ども教室推進事業と放課後児童健全育成事業の連携を図るための研修会を毎年行っています。

近年、参加者からは「防災、防犯に関する取り組み」や「気になる子どもへの支援や対応の仕方」、「保護者とのコミュニケーションの取り方」などの研修についての要望が多くありました。

それらを踏まえて、今年度は明治大学文学部教授 **諸富 祥彦 氏**を講師に迎え、津軽地区（青森市）と南部地区（七戸町）の両会場で研修会を行いました。

全国各地で講演をされている諸富



先生のお話を是非聞きたいということで、両会場合わせて280名の参加者が集まりました。

今回の研修会のテーマが、「保護者との信頼関係を築く方法について」ということで、諸富先生は、次のようなことを述べられました。

- (1) **リレーション**（心と心のふれあい、気持ちと気持ちの繋がり）を意識する。
- (2) 指導員や支援員は**人間関係づくりのプロ**で

なければならない。

- (3) **援助希求**（援助を自ら望んで求める関係づくり）に努め、保護者とはこまめに言い合える関係を築くことが大切である。
- (4) **信頼される先生**であるためには、①爽やかかさ、②マメさ、③よく子どもを見ているかどうか、の3点が重要であり、特に③については、こまめに具体的なメモを取ることが必要である。

研修会の最後には、「支援員の方々  
が保護者に対して何かをお願いする際には『**勇気づけ**』という方法が大切で



ある。人間は勇気づけの言葉をかけられると、それに応えようとする気持ち生まれるようにできている。『あなたならできるよね。』という気持ちを持って、信頼と期待の言葉がけをすることが保護者との関係を築く上で大切である。」というお話をいただきました。

諸富先生のユーモアを交えた語り口に、参加者からは「話がとても面白く、楽しく学ぶことができた。」という声が多数聞かれました。

### ◆受講者の声

- ・話術が素晴らしく、あっという間に講義に引き込まれていました。（**教育活動推進員**）
- ・保護者の方々への接し方について、大変気づきがありました。仲間との温かい関係を築くワークは楽しく、大変素晴らしかったです。（**放課後子ども教室コーディネーター**）
- ・人間関係づくりのプロになって、誰とでもコミュニケーションを図っていきたいと思いました。（**放課後児童クラブ指導員**）

## 家庭教育支援コンテンツ出前講座のお知らせ

当センターでは、参観日や家庭教育学級等における学習会などで、動画教材を用いた出前講座を行っております。また、大学や短大などでも動画教材を使った授業を実施します。

対象 幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校等

申込方法 日程が決まり次第、ご連絡下さい。

TEL 017-739-1270（県総合社会教育センター教育活動支援課）

- ・担当から連絡を差し上げ、詳細の確認をします。
- ・当日担当が伺い、講座を実施します。

子育てや家庭教育の悩みや不安～ひとりで悩まず まずは相談

## すこやかほっとライン

対象・・・就学前児童から高校生までの子どもを持つ親や家族

○電話相談・・・017-739-0101

毎週水・木曜日 13:00～16:00（祝日・年末年始を除く）

○メール相談 24時間受付 [パソコン http://kosodate-a.net](http://kosodate-a.net)

[携帯 http://kosodate-a.net/i](http://kosodate-a.net/i)

青森県総合社会教育センターHPから「あおもり子育てネット」へのリンクをクリックしてください。

## 我が社は学校教育サポーターです お気軽にご相談ください



「地元で活躍されている企業やお店の方をゲストティーチャーとしてお招きしたい。」

「子どもたちの職場見学やインターンシップの受け入れ先を探さなくてはならない。」

そんな時、青森県教育支援プラットフォーム「我が社は学校教育サポーター」の登録企業等一覧表をご覧ください。教育支援プラットフォームは子どもたちのキャリア教育を応援する仕組みです。「我が社は学校教育サポーター」登録企業等数は、平成28年5月13日現在で840社です。

### 【活用の流れ】

「我が社は学校教育サポーター」と検索



「我が社は学校教育サポーター検索サイト」または「登録企業等一覧表」から協力を依頼したい企業を探します。



企業等が決まったら、「学校関係の方はこちらへ」にある「紹介連絡票」に必要事項を記入し、FAXで青森県総合社会教育センターに送信してください。

※詳しくは「我が社は学校教育サポーター」

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-list.html>

をご覧ください。

問い合わせ先 教育活動支援課 TEL 017-739-1270

## 高校生スキルアッププログラム推進事業

### ①どんな事業？

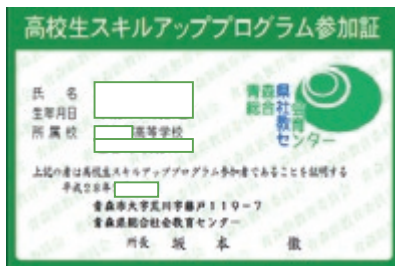
高校生が、放課後や休日、長期休業などを利用して「講座・講演会等」「ボランティア・インターンシップ等の体験活動」の学校外学習に参加し、知識や経験の幅を広げたり、スキルの向上を図るための事業です。

今年度から、「あおり県民カレッジ」にも継続して取り組めるようになりました。



### ②新しくなった参加証

表面は高校生スキルアッププログラム参加証、裏面は県民カレッジにも継続して使える学生証となっています。



平成28年度から、  
県民カレッジの単位にも  
つながるよ！  
どんどん単位をためて  
認定証をゲット！

### ③過去3年間の推移

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
参加生徒数(人)	1,974	2,406	2,288
認定証(人)	51	40	22

### ④高校生の学びの声

24時間テレビのボランティアで一番嬉しい事は、募金をしてくださる人の笑顔を見ることだ。誰かを心から助けたいと思うとき、人は自然と笑顔になる。こんなすばらしいボランティアスタッフを2年連続で務めることができ、誇りに思う。

ある講演で「一回しかない人生だから、自分の人生を大切にして、『私はこういう仕事をしている時が一番楽しいな。』と思える仕事をしてください。」というお言葉を頂いた。様々な分野の達人から人生論を聞くことができ、本当に良かった。

## Facebook はじめました

「青森県総合社会教育センター」の公式 Facebook ページを開設しました。

<http://www.facebook.com/1579722809006767/>

旬のイベント情報やセンターの今を随時発信していきます。

あなたの「いいね！」お待ちしております。



青森県総合社会教育センター Facebook

検索

いいね!

